



ふくしまさんてんじん
福島三天神

ふくしまてんまんぐう
福島天満宮

かみてんじん
(上の天神)

(所在地) 福島二丁目八一

(主祭神) 菅原道真

(創建) 延喜七年(九〇七)

社伝によれば

昌泰4年(901)に菅原道真公が

九州大宰府へ左遷されたときに、里人が旅情を慰めたことをいたく喜ばれ、

当時この辺りを餓飢(鬼)島と呼ばれていたのを『福島』と名づけられた。

後年 菅原道真 が失意のうちに亡くなられたのを聞いた里人が小祠を建てたのが始まりとされている。

現在は先の大戦で焼失した 中の天神社を合祀し、「福島天満宮」と改称した。